

# 会 議 録

## 1 会議名

令和5年度第12回大島区地域協議会

## 2 議題（公開）

### 1 協 議

(1) 大島区の地域活性化に向けた取組について

### 2 その他

(1) 令和6年度第1回地域協議会の開催日について

## 3 開催日時

令和6年3月22日（金）午後2時から3時30分まで

## 4 開催場所

大島就業改善センター 3階 大会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：丸田新一（会長）、武田昌午（副会長）、飯田國男、飯田敏郎、内山信、内山元栄、中村朝彦、丸田松男、山岸久雄
- ・事務局：大島区総合事務所 岩野所長、岩野次長、武田市民生活・福祉グループ兼教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ 篠原主任

## 8 発言の内容

### 【丸田会長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・本日の会議録の確認は、委員番号1番の飯田國男委員にお願いする。
- ・協議事項（1）大島区の地域活性化に向けた取組について、事務局に説明を求める。

#### 【岩野次長】

- ・資料No.1のとおり、前回に引き続きグループワークを行う。
- ・グループワークは30分行い、その後、各グループより発表していただきたい。

#### 【丸田会長】

- ・協議事項（1）について、質疑を求めるもなし。
- ・事務局の説明のとおり、グループワークを行う。
- ・Aグループは、私、内山信委員、飯田國男委員、内山元栄委員、Bグループは、武田副会長、山岸久雄委員、飯田敏郎委員、中村朝彦委員、丸田松男委員とする。
- ・各グループに記録係として、事務局職員が入る。
- ・グループワークは午後2時40分を目途とし、その後休憩、発表とする。

（グループワーク）

#### 【丸田会長】

- ・会議を再開する。
- ・Aグループから順に発表を求める。

#### 【内山（元）委員】

- ・Aグループで協議した結果を発表する。
- ・構成要素「豊かな自然を活かしたイベントの工夫」の具体的な現状については、「細越平生会がイベントを開催しており、少ない会員だが仲間を募りながら活動し、さまざまな行事に参加している。」、「あぜ道ほたるについて、地域の人だけで活動しており、ボランティアを募って開催している。小学生も参加しており、ほたるコンサートと同時開催している。若手が少ない。」、「灯の回廊について、旭地区は同日に開催していない。令和6年2月は、ほくほく大島駅と菖蒲会場のみ開催した。」という意見が出た。
- ・突破口としては、「地域活動支援事業のように町内会等が使いやすい補助金があるとよい。」、「地区の枠を超えて、若い人が協力できる体制がとればよい。」、「他の地区から応援をお願いすると迎えるほうも大変である。」、「大島区全体で考えていかないと何もなくなってしまう。」、「リーダーがいるかないかによって変わってくる。」、「集まりの場があると変わってくる。」という意見が出た。
- ・構成要素「生活実態に見合った安心、安全な暮らしの推進」の具体的な現状については、「冬の屋根や玄関前の除雪の問題について、人力がなく頼める人がいない。」、「ボ

ランティアはなかなか難しい。」、「大きな病院へ行く足がない。」、「移動販売があるため買い物の心配がない。」という意見が出た。

- ・突破口としては、「除雪費助成事業の緩和」、「要介護までには至らないが生活支援を必要とする年代（60歳前後）へのサポート」という意見が出た。
- ・構成要素「米や山菜を活用した特産品の売り込み」の具体的な現状については、「農協も棚田米として売り出しているため、売り上げがあると思う。」、「令和6年度で中山間地域等直接支払制度（第5期）が終わるため離農農家が多い。」、「菖蒲生産組合は600俵くらい販売しており、毎年増えている。」、「旭商店は朝市にも販売しており、東京駅でも販売している。」、「農業公社の販売先は固定。」、「安くておいしい米が売れている。」、「大島区は特産品がない。」、「商品にバラツキがある。」という意見が出た。
- ・突破口としては、「大島区みらい農業づくり推進協議会の立ち上げ。」、「PRが足りないため、ネット販売などあるとよい。」、「大きな受入れ口があれば、売り上げが上がる。」、「味噌を特産品にするのもよい。」という意見が出た。
- ・構成要素「女性や若者など誰もが参入しやすい環境づくり」の具体的な現状については、「町内会など地域の団体の役員は、女性が入っていないところが多い。」、「町内会や地域の団体は、女性がいらないから参加しにくい。」、「女性が地域に出るのをイヤがる。スタッフとして参加するのはよいが、役職は苦手である。」、「婦人部があったときは女性も参加できた。」という意見が出た。
- ・突破口としては、「組織の役員に女性枠を設ける。」、「町内会単位で女性の役員を増やすように努力する。」、「参入しやすい、意見が出しやすい雰囲気づくりや組織をつくる。」、「若い人や女性の集まりを作って、徐々に地域活動に参加できるとよい。」、「大島区全体での集まりがあるとよい。」という意見が出た。
- ・構成要素「伝統行事を継続させる取組」の具体的な現状については、「秋葉山ちょうちん行列について、火の神であるため、現在は役員のみが登っている。保倉地区振興協議会が登山道を整備した。また、地区で開催するように提案したが、地元町内会に断られた。」、「菖蒲地区の秋祭りは、上越市街地から手伝いにきてもらっている。」、「才の神は小さくしてやっている。」、「ほたるのイベントを開催している。」という意見が出た。
- ・突破口としては、「小学校の子供たちに地域のイベントに参加してもらおう。」、「才の神

は複数集落でやればよい。」、「ほたる保護指導員を増やす。」、「伝統行事を継続させるには、地域の枠を広げて取り組む。」という意見が出た。

#### 【武田副会長】

- ・ Bグループで協議した結果を発表する。
- ・ 構成要素「豊かな自然を活かしたイベントの工夫」の具体的な現状については、「各種イベント継続のための人材、後継者、情熱が不足している。」、「イベントを開催する団体が数団体しかない。」、「飯田邸のそばまつりは、これ以上来場客が増えても対応できない。」、「あぜ道ほたるについて、市の補助率が減少している。来場者は多いが、参加者の負担が増加している。」、「外部から人を（キッチンカー等）呼んでも、大島区の収入とならない。地元の人が店をやれば大島区に還元されるのに難しいのが現状である。」という意見が出た。
- ・ 突破口としては、「中学生が作った oshimagram（オーシマグラム）を活用して区外から人を呼ぶ。」、「飯田邸のそばまつりと同日に他のイベントを開催するなど、各地区でなく大島区全体にイベントを広げる。（一緒にできるものは一緒にする）」、「イベントに携わる専門員の教育、視察研修等の取組強化。」、「各地域、団体と協力して、イベントや地域活動を行う。」、「地域協議会が、各団体やまちづくり振興会と一緒に協議していく。」という意見が出た。
- ・ 構成要素「生活実態に見合った安心、安全な暮らしの推進」の具体的な現状については、「1人暮らし高齢者の見守り支援は、十分整えられていると思う。」、「要支援世帯、高齢者世帯宅の除雪が大変である。集落に除雪機を持っている人が除雪しているのが現状である。」、「要支援者に対し、行政から補助金がある」という意見が出た。
- ・ 突破口としては、「各集落に数人規模のグループとして、除雪支援を行う人がいるとよい。」、「買い物、通院の支援をしてくれる人がいるとよい。」、「支援を行っている人も高齢化している。その人たちに対しても、行政等からサポートが必要である。」という意見が出た。
- ・ 構成要素「米や山菜を活用した特産品の売り込み」の具体的な現状について、「従事者が高齢化している。」、「地元住民も減少している。」、「PR発信が不足している。」、「個人で米や山菜を販売している人が多い。大島青空市場、浦川原物産館、あるるん畑へ出す人もおり、青空市場へ持っていったら、即完売することもある。」という意見が出た。

- ・突破口としては、「空き家等を利用した加工場を設置し、機能向上を図ることで、働く場所を創出する。(定住雇用)」、「青空市場など、販売している側が主体となり、PRや広報、SNSによる情報発信をしてもらう。(個人が出品する山菜など)」
- ・構成要素「女性や若者など誰もが参入しやすい環境づくり」の具体的な現状について、「女性や若者において、時間の余裕がない、興味がない、活動の意義を感じないという人が多く、行事には参加するが、地域活動には参加しない人も多い。(住民アンケート結果より)」、「空き家は多いが、住めるような家は少ない。」という意見が出た。
- ・突破口としては、「各種行事では、女性や若者に呼びかけや参加を促し、構成委員として位置づける。」、「移住者や地域おこし協力隊などの若い力を活用して、地域の活性化につなげる。」という意見が出た。
- ・構成要素「伝統行事を継続させる取組」の具体的な現状について、「従事者の高齢化、地元住民の減少に伴い予算面の算出が難しい。」、「さいの神や地域のまつりは、各地区で実施しているが、神事ごとは他地区と一緒にやるのは難しいように感じる。」、「盆踊りを実施できない地区が多い。(音頭取りをする人が少ない)」という意見が出た。
- ・突破口としては、「地域の持続的発展をさせるために、関係する団体との連携を図る。」、「さいの神、地域のまつりについて、合同でやれるものは一緒にやる。ただし、一緒にやると参加する人が少なくなる可能性もあるため、今のところ維持できている地域については、無理に一緒にするべきではない。」、「盆踊りは、地区全体でやれば、普段顔を合わせない人も来るかもしれない。」という意見が出た。

**【丸田会長】**

- ・各グループの発表について、質疑を求めるもなし。
- ・事務局に内容の確認を求める。

**【岩野次長】**

- ・今回の各グループの発表内容について、事務局の方で1つにまとめさせていただき、次回の地域協議会にてお示しさせていただく。
- ・次期地域協議会委員への引き継ぎを意識したうえで、内容について確認していただければと考えている。

**【丸田会長】**

- ・その他事項（１）令和６年度第１回地域協議会の開催日について、４月２３日（火）午後２時から大島就業改善センターで開催することとしてよいか。

（「はい」の声）

- ・ほかに発言を求める。

**【岩野次長】**

- ・事務局より情報提供。当日配布資料に沿って説明。

**【岩野所長】**

- ・この協議内容が、次期地域協議会委員への事実上の引き継ぎ事項となるかと思うが、次期地域協議会委員の皆さんには、口頭でもよいので、これまでの活動や、自身の考えなど、細かい内容について伝えていただき、次期地域協議会委員が活動しやすいようにしていただければと思う。
- ・また、任期終了後においても、必要に応じてアドバイスしていただくなど、次期地域協議会委員のサポートをお願いしたい。

**【丸田会長】**

- ・ほかに発言を求めるもなし。
- ・それでは、以上をもって第１２回地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

大島区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-594-3101（内線 61）

E-mail：oshima-ku@city.joetsu.lg.jp